



THE ROTARY CLUB OF MIYOSHI CHUO

三次中央会報 ロータリークラブ

事務所 / 広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mcrc.server-shared.com
例会場 / 広島県三次市十日市南 1-10-1
三次グランドホテル
例会日 / 月曜日 12:30~13:30

2022-2023 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

- 本日のプログラム なるほど出前講座／プログラム委員会
「はじめよう 健康づくりの第一歩」
三次市健康推進課 奥川様
- 次回例会日時 2023年5月15日(月) 12:30~
- 次回プログラム ゲスト講演／SAA・出席委員会
ストレングスジム三次店 代表取締役
河野大輝様、智恵子様ご夫妻

会長 / 沈 勝 義
幹事 / 中 島 清 貴

●2022~23年度 国際ロータリーのテーマ



●2022~2023年度 三次中央RCスローガン
ロータリアンであることを強くイメージし、
奉仕の喜びを分かち合おう

■第1382回例会記録

- 日時.....2023年4月24日(月) 19:00~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ソング「我らの生業」.....全員

■開会挨拶.....沈 会長

真実かどうか

皆さんこんにちは。今日は今月の最終例会ということで、夜間例会です。お酒などをいただきながら楽しいひと時を過ごしましょう。

とはいえ、後半のプログラムは地区研修・協議会の報告となっています。次年度の活動につながる大切な報告ですので、しっかり聞いてください。また、発表される皆さんにはよろしく願いいたします。

今月3日付の会報に「私の新人時代」と題して、前田会員の寄稿が掲載されていました。仕事の性質からして、担当する方々の人生に大きく影響を与える可能性があるので、いろいろご苦労をされながら頑張っていたらよかったのかな。

個人的にも最近、裁判官や弁護士などの活躍を取り扱った、法廷関連のテレビドラマなどを、興味をもってよく拝見しておりますが、何かのドラマに出てきたセリフで、「事実の一つだけど真実はいくつもある」という言葉がすごく印象に残っております。以前、前田会員も四つのテストを唱和するときに、呟いていらしたのを覚えてい

ますが、普通は、真実の一つしかないものだと思います。しかし、事件の加害者と被害者では、同じ事実をそれぞれが正直に説明したとしても、その立場によって思い込みや感じ方が違うので、片方の証言だけでは、事実として正確にとらえることができないということなのでしょう。また例えば、それを目撃した第三者が正直に説明したとしても、その時の思い込みや感情などが影響し、また違う真実になってしまうかもしれません。それほど真実を見極めるのは難しいのかもしれない。



ところで、私たちは毎日テレビ放送や新聞などから、いろいろな情報に触れています。ともすればそれらの報道を鵜呑みにしがちですが、報道内容を制作する背景によっては真実が違って来るとも、特に国際情勢などは、取材する側

やニュースを報道する側の立ち位置によって、表現なども変わってくるので、なおさら真実が捉えにくくなるのだと思います。

あるいは、実際に、報道する側が伝えたいニュースだけを集めて報道し、伝えたくないニュースは一切報じられない現状では、私たちの考え方も偏ったものになるかもしれません。

だからこそ私たちは、日頃からそういった報道に対し、客観的に捉えたり、反対の方向から見てみたりすることで、できるだけ正しい判断ができる努力することが大切なのではないでしょうか。くれぐれも、一方的な情報や、思い込みに偏らないよう、注意を払って取り扱いたいと思います。

以上で会長挨拶を終わります。

■幹事報告.....中島幹事

●推薦があがっておりました株式会社のは、谷英佑氏の入会が決定しました。職業分類は獣医です。入会セレモニーは5月15日に行います。

●5月1日はゴールデンウィークのため、休会です。

■myさくらメンテナンスお知らせ.....松本会員

myさくらも14年になりました。コロナで3年間活動できませんでしたが、植樹された方に連絡し一緒に、5月21日(日)午後1時30分より手入れをいたします。会員の皆さんもぜひ参加してください。雨天の場合は次の週になります。

■出席報告.....平田委員長

●第1380回 4月10日

会員数	35名	Make-up	2名
欠席	8名	出席合計	29名
欠席者のうち規定免除	1名	出席率	85.29%

●Make-up...信国君、石田君

●第1382回 本日の出席は35名中29名です。

■SAA.....石田SAA

●会員誕生日...中島君



●会員ニコニコBOXご出宝

中島君 誕生日、ありがとうございます。本日は地区研修・協議会報告をします。よろしくお願いいたします。(大)

上田君 昨日の地区研修・協議会出席者の皆様、お疲れ様でした。本日報告します。(大)

沈 君 地区研修・協議会参加の皆様、ご苦労様でした。報告よろしくお願いいたします。

栗本君 地区研修・協議会報告します。

和田君 地区研修・協議会に行ってきました。お世話になりました。

平田君 地区研修・協議会参加の皆様、ご苦労様でした。

杉谷君 地区研修・協議会参加、ご苦労様でした。

ニコニコBOX本日出宝額 11,000円

地区研修・協議会報告

概要報告

次年度幹事
栗本 清秀



昨日の国際ロータリー第2710地区2023-2024年度地区研修・協議会の概要報告をいたします。総勢9名で参加いたしました。

朝10時にサングリーン駐車場を、石田会員のお見送りを受け出発し、途中久地で食事休憩し正午に広島国際会議場着、バスの運転手さんに記念撮影の協力をいただきました。

13時より合同本会議第一部を全員で、休憩の後にそれぞれ別れて分科会を受講しました。

会長・幹事部門 上田会長と私、クラブ管理運営部門 山縣会員、公共イメージ部門 和田会員、会員増強部門 中島会員、奉仕プロジェクト部門 ①前田会員、②野村会員、ロータリー財団部門 井上会員、米山奨学会部門 水野会員の構成です。

分科会ののちは、第2部の本会議を経てシャトルバスでホテルグランヴィア広島に移動し懇親会に出席、途中退席し20時前にサングリーン着解散しました。

懇親会や往復のバスでは皆様充分に懇談を楽しめたかと思えます。

貴重な休日を費やし、ご参加いただいた皆様、大変お疲れ様でしたと感謝いたします。

昼食や飲料の提供をいただいた次年度上田会長の成功を改めて祈念し、次年度の幹事報告とさせていただきます。



地区研修・協議会報告

会長幹事部門

次年度会長
上田 秀樹



リーダーは井内康輝がバナーエレクトでした。テーマは、RLIの役割について。

RLIとは、The Rotary Leadership Instituteの略です。

これを始めるに当たって3つの地区が関わり、その一つに2710地区今は亡き南園パストガバナーがメンバーの中におられたようです。その為2710地区は積極的に取り組んでいます。RLIは会長になるためにPart3まで受講します。RLIはロータリアンが議論を通じてロータリアンとして成長を目指してきたプログラムです。

このRLIの手法をクラブに導入することでクラブ内での活動の立案に多くのメンバーの多様な意見を反映でき、クラブの活性化につながると考えるそうです。

RLIの実演あり

テーマとして戦略計画を作る

6名のメンバーで行われました。

講演「RLIに参加して語ろう」

RLI日本支部元ファシリテーター委員長 中村靖治様(第2770地区吉川RC)



地区研修・協議会報告

クラブ管理運営部門

次年度出席委員長
山縣 隆



次年度出席委員長の山縣でございます。
この度は、クラブ管理運営委員会担当の小根森理事の代理として出席をさせていただきました。

本会議では、井内ガバナーエレクトから「次年度R Iテーマ地区運営方針について」お話を聞かせていただき、その後分科会でクラブ管理運営部門の会場に移動し、石川ガバナーから組織の構成についてご講演をいただきました。

組織の構成については各クラブでどのようになっているか？ということでもてみますと、会員数が126名と一番多い広島RCが8部門、16委員会あり、会員数33名の下関西RCが7部門、15委員会で、そして会員が一番少ない吉舎RCが7委員会、14小委員会という構成となっております。各クラブにより異なっているようですが、組織が小さくなると委員会があっても大変なので委員会を統廃合するなどして、とにかく委員会活動を行っていくために見直してほしいとのことでした。

また、私もまだ組織のことはよくわからない中で、色々な委員会や役割について教えていただきました。例えばSAAとは何かということで私はニコニコ担当と思っておりましたが、Sergeant at Armsの略称で護衛官を意味し、会場監督とか例会のマナーや雰囲気营造良好に保つこと、席順、会場設営などを行うということでした。また、メイキャップについてですが、地区により欠席前後2週間とか1年以内とか異なっているようですが、2019年の規定審議会により2週間から同年内へと改正されているそうです。その他、親睦とは奉仕活動を通じて信頼につながり親睦も深まるとか、退会予防策、卓話の事、スマイルボックスの事など色々聞かせていただき、勉強させていただきました。

次にクラブ運営の活性化策を探ることを目的に事前に調査されたアンケート集計を基に、実績の報告と該当する地区代表者からその理由について発表がありました。まず、1年間に15人とか11人とか新入会員数が多かったところの取り組みにつ

いてですが、新入会員には会員より必ず1名はブラザーという係を付け、例会時は隣に座り1年間お世話をするとか、女性会員が8名増えたというところでは入会3か月以内に女子会をするほか男性も歓迎会をしているとのことでした。また、広島の方では人数も多いということで、親睦会の回数が90回とか43回とかゴルフや野球など活発に開催し、親睦をしているとのことでした。

また、バスの中や懇親会などでも会員同士で交流ができて、大変勉強になるとともに楽しい研修会となりました。

地区研修・協議会報告

公共イメージ部門

次年度公共イメージ委員長
和田 ひとみ



ロータリークラブに30数年在籍させていただいていながらも、今回が2度目の参加です。

かねがねの噂どおり、行き帰りのバスの中は本当に楽しく、往復2時間余りの時間が勿体無いほど短く感じました。メンバーの皆さんには優しくしていただき、とっても満ち足りた気分になりました。ありがとうございました。

さて、本題ですが、私は公共イメージ部門の分科会に参加させていただきました。

まず、感じたことは時代は進んでいる！と言うことです。事例発表は広島西ロータリークラブでした。主にホームページの事例でしたが、まさに時代に即したDX(デジタルトランスフォーメーション)を活用したものでした。ホームページの中にYouTube動画を入れたり、外部に対しては、報道機関などは、今まで通り紙媒体のものもある中で、一般の人々への発信には、SNS、Facebookの活用をされています。ボランティア活動などはそれを見た若者の参加も多々あったと言うことです。私の場合アナログ人間も良いところですが、これからは若いメンバーの力も借りながら、ロータリークラブの公共イメージアップに努力してみたいなと感じました。

地区研修・協議会報告

会員増強部門

次年度会員増強委員長
中島 清貴



分科会では、会員増強部門に参加してきました。カウンセラーを務められたのは前田茂パストガバナーでした。

2023-24年度の基本方針は、

1. 地区全体で3,200名を維持
2. 各クラブでオープン例会を開催する
3. 女性会員の増加をはかる(女性会員の会と連携する)
4. 会員の退会防止をはかる
5. 衛星クラブ制度などを活用して新しいクラブをつくる

前田パストガバナーが、しきりに仰っていたのが、日本庭園が綺麗なのはそのバランスが良くしっくりとしているからです。ロータリークラブにおいても男女、年齢、職業などバランスが良いことが重要です。女性会員のいないところもこの2710地区では10クラブあり、地区平均では女性の割合は6.4%です。全国では5%これを10%くらいには上げるよう女性会員を積極的に増強していきましょう。とのことでした。

うち三次中央では14%ですからとても誇らしいと思いました。ちなみに世界平均は19%だそうです。

また今回からグループワークがあり会員増強について意見交換をしました。

- ・事業承継ができず廃業になりそのまま退会につながるようなことにならないように。
 - ・入会してほしい人に何人からもこえをかける。
 - ・コロナが収束してきたから声がかかりやすくなった。
 - ・同業種の仲間を入れる。
- など勧誘方法が出てきました。

地区研修・協議会報告

奉仕プロジェクト部門 (職業・社会・国際奉仕)

次年度職業奉仕委員長
前田 剛志



次年度職業奉仕委員長を拝命しましたので、分科会奉仕プロジェクト①部門(職業・社会・国際奉仕)に参加した報告をします。

まず、コロナ下でクラブの活動が停滞しているため、活性化したいという目的で、各クラブの奉仕プロジェクトについてのアンケートが配布されました。多くは、「なし」ということになっていて、コロナ下での活動が難しかったことがわかりました。今後の活動の活性化の一助とするということで、3つ活動発表がされました。

①事例発表1 下関東 日帰り子どもキャンプ

対象者の選定が難しいということで、当初は母子家庭としたが数が読めない、情報少ない等の事情で、児童養護施設に白羽の矢を立てて、入所児童を招待するということにしたそうです。余暇の過ごし方がわからない、職業体験で職業観を作るという意味で、ロータリー会員との交流は大変役に立つということでした。

②事例発表2 防府ロータリークラブ 発表会員は児童養護施設長で、RCC、地域共同体で、子どもに対する支援をしてきたという活動発表でした。

③事例発表3 東広島はイルミネーション事業を行ったということで、十日市コミュニティセンターで毎年やっているようなイルミネーションを会員皆さんで作ったということでした。

全体として、子どもの支援というテーマでしたが、三次には児童養護施設はありません。子ども食堂を支援するというのも一考の余地がありますが、こどものみを対象としたものはありません。地域食堂というのはいくつかあるので、それは要調査と思います。

最後に、ロータリー 2710地区で、環境問題出前授業を学校でを年度内に実施してほしいということでした。将来に向けた大きな課題として、一つは瀬戸内海マイクロプラスチックが大きな問題になっていることが挙げられました。年度内にするという難しさはあると思いますが、一つの取り組みとして検討していくことになると思います。

大変勉強になりました。ありがとうございました。

地区研修・協議会報告

奉仕プロジェクト部門 (青少年奉仕)

次年度青少年奉仕委員長
野村 明弘



奉仕プロジェクト(青少年奉仕)

- 1、基本方針はRI会長のテーマと井内ガバナーエレクトの信条「平和の種をまこう!!～ロータリアンに出来ること～」を踏まえ国際的な視野を持つ健全な青少年の育成を図ることを目標に各委員会がそれぞれの役割を認識し活動して参ります。
 - 2、コロナ禍でさまざまな活動が制限されたり中止となっていました。各委員会は「RESTART」として原点に戻り内容を精査し、活動再開を目指します。
 - 3、「RA・IA・YE・RYLA」の計画が円滑に推進できるよう、各委員会と連携を図り適切な支援を行ないます。
 - 4、変更点は交換留学生の募集方法が今までは地区に案内が来たものを学校に紹介していたのですが、今後は募集の希望をした所に要項を送り学校に提案するようになりました。
- 以上青少年委員会の研修報告になります。

地区研修・協議会報告

ロータリー財団部門

次年度国際奉仕委員長
井上 幸三



カウンセラー 藤中パストガバナー

基本方針

ロータリー財団の使命に沿った地区補助金、グローバル補助金など立案実施するクラブをサポートし、クラブの活性化とロータリー財団への理解を深める。

●各種寄付目標活動の展開

ポリオプラス 30ドル/1名当

年次基金 150ドル/1名当

ベネファクター(恒久基金)1名位以上/クラブ

●地区補助金、グローバル補助金の活用促進

●ロータリーカードの普及促進(使用金額の0.3%が寄付される)

財団ニュースが各クラブに送付されています。一読ください。

事例発表 福山東RC兼田悦子さん 車いすバスケット車椅子贈呈式

地区研修・協議会報告

米山記念奨学会部門

次年度米山記念奨学会担当
水野 重喜



2710 地区2023-2024年度地区研修・協議会に参加いたしました。米山奨学会部門の内容を報告させていただきます。

まず初めに基本方針

2023-2024会長テーマ「世界に希望を生み出そう」です。米山梅吉氏の高い精神の原点を再考し地区で理解し実践しよう。

分科会のテーマ

- 1、特別寄付目標 一人 16,000円

前年度は一人平均12,597円でした。

- 2、米山奨学生、'カウンセラーによる卓話
奨学生 全 志慧(ドウ シケイさん)
山口大生

カウンセラー 歳弘 真悟 氏(防府RC)

*現在の活動内容についての報告

- 3、米山学生会についての説明
 - 4、カウンセラーの講評 吉原 久司 氏
- 以上が分科会の要点です。

*後日、皆様には寄付のお願いをいたしますので、ご協力のほどよろしくお願いたします。